

平泉商工会報

令和5年1月1日発行/No. 116

編集・発行/平泉商工会 ●〒029-4102 西磐井郡平泉町平泉字志羅山152-2 TEL.0191-46-3560
URL : http : //www.shokokai.com/hiraizumi/ E-mail : hirasho@rose.ocn.ne.jp

新春を迎えて

平泉商工会 会長 高橋 幸喜



新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の収束が一向に見えないままです。スタートし、各種行事、イベントの中止や延期が相次ぐ中、平泉町が春の藤原まつりの東下り行列を三年ぶりに開催したことで、以後、他地域でも各種イベントは感染症対策を講じて開催されるようになり、平泉町が先陣を切ったことが動機付けになった年となりました。

本商工会においても、中尊寺通りに賑わいを取り戻

そうと始めた「中尊寺通りホコ店祭り」が七回目を迎え、十二区の皆様のご協力の下、好天の中、開催いたしました。

九月には通算五回目となる会員を対象とした新型コロナウイルス感染症に伴う影響調査を実施し、その結果を分析し、十一月には「商業振興対策の拡充強化について」を平泉町長並びに平泉町議会議長へ要望書を提出いたしました。

また、財政基盤の強化を目的とし推進してまいりました会員福祉共済事業は県下で唯一、全国商工会連合会長を受賞、さらに組織強化運動においては岩手県商工会連合会表彰を受賞することができました。

本町の中小・小規模企業者は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、県、県並びに平泉町の様々

な支援策や、観光客の増加などにより、経営状況は緩やかに回復傾向にあります。が、ここきて燃料費高騰や原材料価格の高騰による費用の増加に直面し、加えてコロナ感染症第八波到来と、目まぐるしい経済環境が続いています。

令和五年も引き続きコロナウイルス変異株による経済活動の制限や不安定な国際情勢による経済への影響、急速に進む人口減少や後継者承継等厳しい環境に置かれています。が、中小・小規模事業者は新しい生活様式に対応したビジネスへの転換やローカルイノベーションが必要不可欠であり、商工会は地域の身近な相談窓口としてきめ細かな伴走型支援を推進してまいりたいと思います。

本年も会員はもとより、関係機関との連携を深め事業を推進してまいりますので、ご支援ご協力のほどお願い申し上げますと共に会員皆様のご隆昌を祈念し、新年の挨拶とします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます 令和5年元旦

平泉商工会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-----|------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 主事 | 主事 | 主事 | 副主幹 | 事務局長 | 監事 | 監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 副会長 | 副会長 | 会長 | | | | | |
| 佐藤 | 佐藤 | 山口 | 佐藤 | 加藤 | 小岩 | 佐藤 | 千葉 | 鈴木 | 菊地 | 小室 | 佐々木 | 千木 | 鈴木 | 佐藤 | 里見 | 朝田 | 鈴木 | 鈴木 | 吉積 | 佐藤 | 千葉 | 丸山 | 高橋 |
| 諒 | 依 | 亮 | 修 | 大 | 敏 | 哲 | 敬 | 勉 | 高 | 光 | 優 | 茂 | 穂 | 弘 | 尚 | 茂 | 繁 | 宏 | 弘 | 長 | 直 | 芳 | 幸 |
| | | | | | 郎 | 雄 | | | | 子 | 弥 | 樹 | 美 | 之 | 一 | 子 | 夫 | 介 | 行 | 伸 | 樹 | 広 | 喜 |

商工業振興対策の拡充強化を 平泉町・町議会へ要望書を提出

十一月十六日、高橋会長、丸山副会長が役場を訪れ、青木町長並びに高橋町議会議長へ「商工業振興対策の拡充・強化について」の要望書を提出しました。

高橋会長が「コロナ禍の長期化に加え、燃料・原材料価格の高騰や深刻な労働力不足などにより町内商工業者の経営状況は厳しいものとなっております。この状況を乗り越えるための商工会の役割を十分にご理解いただき、商工業者の経営継続のために一層のご支援をお願いしたい」と要望書を手渡しました。

要望内容は▽令和五年度平泉商工会運営費補助金の拡充・強化について▽新型コロナウイルス感染症に伴う会員事業者の影響調査結果からの要望▽創業、起業対策について▽雇用対策について▽平泉町中小企業及び小規模企業振興条例の効果的な活用について▽町外資本事業者への商工会加入への呼びかけについての一六項目。



又感染症に伴う会員事業者の影響調査結果からの要望については、小項目として「ウィズ・アフターコロナの持続的成長・競争力強化」「需要喚起事業の実施について」「金融支援の強化について」「原材料、エネルギー価格、物価高騰等対策について」の四項目を盛り込みました。

また、町内の商工業者が年々減少していることから、町全体で創業・起業・事業承継・若者移住などに取り組むことを求めました。

創立五十周年を祝う 平泉青色申告会

平泉青色申告会（千葉礼子会長、会員五十人）は十一月十六日、創立五十周年記念式典を開催し、半世紀の節目を祝いました。

千葉会長が式辞で「正規の簿記に基づいて帳簿を記載し、記帳から所得税を計算して申告する青色申告制度を支えてきた会の役割は大きいものと確信します」と挨拶。続いて



受賞

創立四十周年記念式典以降に三十年を経た会員十一人に対し永年会員表彰を行い、来賓の一関税務署長、平泉町長、一関地区青色会連合会長からそれぞれ祝辞をいただきました。式典後は、記念事業として「地産地消講師」として活動している地伏亭金目（本名松田真学）さんによる講演会を行いました。

十一月十日、第六十二回商工会全国大会がNHKホールで開催され、その席上で平泉商工会が会員福祉共済推進優良商工会として県内で唯一、全国商工会連合会表彰を受賞しました。



小岩義典前青年部長

十一月十七日、岩手県商工会連合会館で知事を囲む懇談会が開催され、その席上で小岩義典前青年部長が青年部功労者として岩手県商工会連合会長表彰を受賞しました。



中尊寺通りホコ天まつり

十月二日、中尊寺通りに元気と賑わいを創出することを目的に七回目となる中尊寺通りホコ天まつりを、十二区地内を会場に開催しました。

テープカットで開幕。町内外から十六店舗が出店し、北側に設置した路上ステージでは、平泉中学校吹奏楽部の演奏、水沢農業高校民族舞踊同好会の手踊り、幻夢伝のよさこい、レイアロハのフラダンス、郷土芸能体験講座の達谷麗毘沙門神楽が披露され、最後は弁慶力餅協議保存会による餅振舞いで締めくくられ、秋晴れの下、終日多くの来場者で賑わいました。



ひらいずみ創業塾開催

次世代経営者育成事業として「ひらいずみ創業塾」を八月から四週にわたり開催しました。

平泉町が産業力競争強化法に基づく創業支援事業の認定自治体となっていることから、平成三十年度から開催してきました。

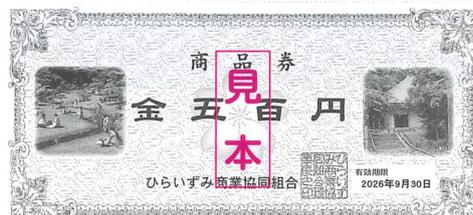
MSコンサルティング(秋田市)代表の佐瀬道則中小企業診断士を講師に、ビジネスアイデア発想法、マーケティングの基礎知識、ビジネスプラン作成など体系的に学びました。

商工会では、商工業者が減少することで地域経済が縮小されてきている状況に大きな危機感を抱き、今後創業・起業・事業承継の支援に力を入れていきます。



ひらいずみ共通商品券「スタンプラリー」開催のお知らせ

商品券発行から25周年を記念して「スタンプラリー」を開催致します。共通商品券が使えるお店(48店舗)で商品券を使ったお買い物会計1回につきスタンプを押印します。異なる3店舗のスタンプを集めて豪華景品をゲットしてください! 詳しくは加盟店まで!



賞品

A賞	商品券 3,000円分	5本
B賞	商品券 2,000円分	10本
C賞	商品券 1,000円分	10本

ひらいずみ応援商品券2022 有効期限 令和5年1月10日(火)

《注意事項》

- 商品券は有効期限を過ぎるとご利用できません。
- 未使用の商品券の払い戻しはできません。

ご利用はお早めに!